

コード	504030105
記入日	H21.5.9

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川義男
担当者	原 裕一

事務事業事後評価表

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	荒木忠三郎油彩画受入
----------	------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 20 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	504	施策名称	伝統、文化の保存・継承と創造	項コード	5
基本事業コード	50403	基本事業名称	芸術・文化事業の支援	目コード	1
事務事業コード	5040301	事務事業名称	文化活動への支援事業	細目コード	1
関連計画			法令・条例規則等		

計画 (PLAN) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。								
対象: 誰、何を対象にしているのか			対象指標: 対象の大きさを表す指標					
(対象1) 全住民			(対象指標1) 24,299人 (H20.4.1)					
(対象2)			(対象指標2)					
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)					
(全体)		(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率) (達成率積算根拠) (目標達成年度)			
*****		町出身画家の油彩画寄贈を受け、絵画寄贈に係る、備品購入(額縁)及び寄贈者招待、展覧会開催した。 報償費 11,025円 普通旅費 160,800円 需用費 175,920円 役務費 136,500円 備品購入費 427,539円 計 911,784円	*****	*****	***** 美術展開催数2回 ÷ 予定した美術展開催数2回	*****		
			① 美術展開催回数 2回		100%	平成20年度		
			(達成率分析)	寄贈された絵画の有効利用が図られ、住民の文化力向上に資することができた				
			②					
(達成率分析)								
目的: 何をしたいのか			成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)					
絵画の寄贈を受け、広く町民へ創作者を知らせるとともに、住民の文化向上を図る。			(指標名称)	(指標数値)	(達成率) (達成率積算根拠) (目標達成年度)			
			*****	*****	*****	入場者数717人 ÷ 入場目標数24299人	*****	
			① 入場者数 717人		33%	平成20年度		
			(達成率分析)	全町民を対象として開催し、3分の1の町民に鑑賞してもらうことができた。				
			②					
(達成率分析)								

実施 (DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。					
	単位	全体計画	H 20 ~ H 20	平成19年度以前	平成20年度
		計画	実績	実績	計画
活動指標	① 回	2	2		2
	②				
成果指標	① 人	24,299	717		24,299
	②				
総事業費 C (A+B)		千円	2,364	1,612	2,364
直接事業費 A		千円	1,664	912	1,664
人件費 B		千円	700	700	700
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円			
	県補助金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
一般財源		千円	2,364	1,612	2,364

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	町民及び地区住民の文化力向上に大きく貢献した
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	地元出身の画家の作品を展覧することで、地域への活性化が図られた
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由	文化力向上へ大きく貢献した
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由	若松島出身の画家の作品を広く展示しその周知と絵画の活用の目的が達成できた
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	多くの住民へ来場を頂くようなPR等が必要であった
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	文化の向上のため必要な事業であった
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	新上五島町文化祭作品展示部門との共催実施
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	必要最低限の費用で実施したため、削減できない。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	必要最小限の人員で取り組んだ。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由	町が振興する分野での事業なので受益者負担がなかった。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点
	文化関連事業を実施し町民の文化意識の向上を図る必要がある。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策
2次評価	なし
	本町出身の著名な芸術家の作品が鑑賞でき、町民の文化意識の向上につながった。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。